

犬山市協働プラザ事業 進捗状況表(令和3年度実績)

事業の実施方針及び成果指標				進捗状況 (青：実施中or実施済 黄：準備中 桃：未実施)	備考(実績等)
項目0 (必須業務・重点課題)	項目1 (業務タイトル)	項目2 (事業内容)	項目3 (事業項目)		
市民活動支援の段階① 団体支援で、成果を出せる団体を増やす	●「協働プラザ」業務運営管理	運営委員会（全構成員で組成）	定期的な運営会議を開催	毎月第1(金)	コンソーシアム内での会議
		協働プラザミーティング	行政担当との定期的な打ち合わせを開催	プラザMTG：毎月第2(木)。プラザMTGmini：プラザMTG実施週を除き毎週	
		事業ミーティング	各事業からの相談・マッチング案件の共有・提案・進捗確認	毎月第3(金)	コンソーシアム内での会議
		事務局ミーティング	1か月ごとの集計、事業・成果指標達成状況確認、予算管理等	毎月第4(金)	コンソーシアム内での会議
		市協力事業(条例WS等)	協働プラザをオンライン視聴会場とし開催協力	協働推進に係る条例WSでのサテライト会場	WS5回中2回を協働プラザで開催(残り3回は市役所会議室使用) 11名参加
		・来所者対応 ・相談対応 ・受付管理 ・イベント管理 ・施設利用管理 ・職員動怠管理 ・報告書作成	施設全体統括、各スタッフのマネジメント、市との調整等	事務局ミーティングで共有・調整	
			来所者の受付対応業務(施設・機器の利用、相談対応)	コロナ対策継続中。R3年度よりワクチン接種会場としても活用	来場者：累計4,843名 一日平均15.7名 (R3成果指標)来場者数：8,000名 ※R2実績：5,465名
			団体の交流促進関連イベントの開催等	コロナの影響もあり、イベント企画は見送り 協働プラザの掲示スペースにおいて、市民活動団体等の活動写真やPR内容などを掲示し、他団体の活動を知る・繋がる機会となるよう紹介	(主な活動掲示団体) ・尾張輝虹会スターレインボー：5回 ・いぬやまe-コミュニティネットワーク：4回
			受付・相談員・各事業スタッフのバックヤード業務運用に関する進捗、報告、相談事などをグループウェアで共有	進捗管理を行うアプリケーションを構築し、運用中(サイボウズ)	
		外部・他団体との連携協力体制	・市との連携 ・福祉、子育て、教育、生涯学習等の活動団体との連携 ・他市町での活動団体との情報共有 ・外部情報発信媒体との連携 等	対応内容は事業ミーティングで共有、運営会議で報告し、具体的なイベント等へ発展する場合は企画書を作成 必要に応じて地域協働課と連絡・相談	(主な事例) ・不登校支援団体の連携支援 ・CCNETにて、「わんまる一むでつながろう」というコーナーで市民活動団体を紹介：5団体 ・他市のセンター視察受け入れ(弥富市、北名古屋市)
		利用者の意見徴収・評価	施設利用促進(常時、定期的な徴収・評価・改善)を目的とした、意見箱の設置、定期的なモニタリングや、年1回の利用者ダイレクトモニタリング	意見箱の設置継続中	来場者アンケートの実施(11月～12月 回答20件 80%が満足と回答) (R3成果指標)利用者満足度：80%以上
		相談・助言・団体の業務支援	相談・助言業務（専門的、具体的な個別対応の支援）	R3年度は、固定の相談日は設けず、予約受付して実施中	相談・助言件数：128件 (R3成果指標)相談件数：60件 ※R2実績：63件
			団体の業務支援関連イベントの開催 各種支援(立上げ、事務局、広報、会計、書類作成等)	気軽に相談できる場所としての周知を狙い、相談テーマをカテゴリー分けして行う「ジムジム相談会」を実施	開催数：8回、参加者：16名 ※R3新規事業
		情報発信 ①メルマガ・SNS ②WEBサイト ③広報誌 ④その他	①情報発信：メルマガ・SNS通知 メールマガジン、公式LINEアカウント、Facebook、Twitter等を活用	公式LINE、Twitter、Facebook、Instagramで、毎月開催事業の告知や報告等を発信中	公式LINE登録：59名、Twitterフォロワー：136名、 Facebookフォロワー：(プラザ) 331名、 Instagramフォロワー：(プラザ) 247名、 (つなフェス) 283名
			②情報発信：協働プラザサイト ※Wordpress運用	R2年度にWEBサイトを構築し、随時更新しながら運用中	閲覧件数：5,246件 (R3成果指標)Webの閲覧件数：10,000件 ※R2実績：4,929件
			③情報発信：広報誌 毎号編集会議を行い、年4回発行：6月/9月/12月/3月	A3両面カラーで、夏・秋・冬・春号を発行	各1,300部発行
			④その他 「犬山市協働プラザ事業紹介リーフレット」の作成	A4三つ折り両面カラー。アウトリーチ、企業訪問等で使用中	3,000部発行
	●自主事業A（毎年申請）	協働プラザシンポジウム	・未来イメージを共有して、市民活動団体の連携強化 ・先進的な事例や社会的な視点からの情報発信 ・地域の問題点の洗い出し、課題抽出、対応策	当初はリアル開催を計画していたものの、コロナの状況を踏まえオンライン方式へ切替え、2月26日(土)YouTubeによるライブ配信を行った。 名古屋経済大学地域連携センター副センター長の佐藤正之氏の基調講演の他、同大学の学生、楽田コミュニティ森岡会長、犬山JCも交えパネルディスカッションを実施。	ライブ配信視聴者 38名 (YouTube閲覧 289回 3/16時点) ※R2実績：Zoomウェビナー38名 (YouTube閲覧 1部：329回、2部：244回)
	●自主事業C（毎年申請）	協働プラザマルシェ&シェア (地域資源バンクPRとしても)	・市民活動団体、地域の活動者、社会貢献企業等の交流、連携 ・活動紹介の場、ポスターセッション、体験ブース等 ・団体が扱う商品の物販、出張イベントのPR、スペースや体験、スキルや資金などシェア可能な活動PR 等	「いぬやま地域つながるフェス」を9月19日(日)・20(月祝)の2日間開催 協働プラザで、市内で同日開催されるイベント等を募り、「いぬやま地域つながるフェス」と題して、SNSを中心とした広報支援を行うことで、活動者間の交流や連携、地域活動の促進を目指す 協働プラザは広報支援をメインとし、実際のイベントを行う会場は協力団体や事業者が運営を行う	11会場での開催を予定していたが、緊急事態宣言発令に伴い、協働プラザ主催のわんまる一む展を始め、5会場でイベントが中止となり、2会場がオンライン方式に変更となった。残り4会場は予定通り開催された。 (予定通り開催)朝市、秋のココトモマルシェ、たまご家ミニマルシェ、宵のキッチンカー ※R2コロナのため未実施

相談・連携案件の事例

○不登校支援団体の連携

不登校支援の活動を行う複数の団体から、これまでの活動についての話を聞く中で、「同じような活動をしている人たちの情報が欲しい」「つながりたい」との意見が多かったため、協働プラザがハブとなり、まるのせかい、このゆびとまれ、いっば、まなぶみ学園の4団体に加え、他関係者にも声掛けし、顔合わせの場づくりを行った。連絡網（LINEグループ）を作成し、定期的に連絡会を実施していく。

○団体紹介からの協働事業の実施

犬山青年会議所より、次年度、女性活躍、ジェンダー平等をテーマに活動したいため、市内でそのような活動をしている団体を紹介して欲しいとの相談。NPO法人にこっとを紹介し、R4年度の市民活動助成金コラボマッチング部門へ事業を提案し、採択。

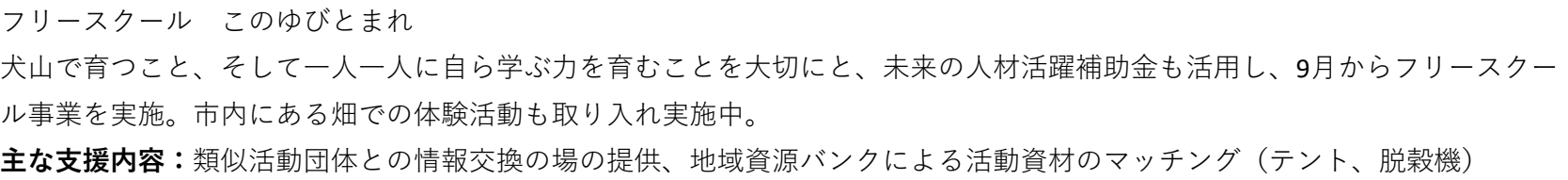
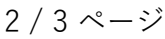
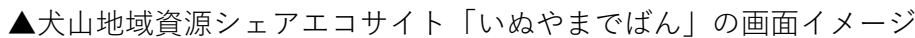
○Zoom等オンラインツールの利用支援

犬山幼稚園PTA保護者会より、オンライン講演会を検討しているが、Zoomでの開催経験がないため、主催側の操作方法について相談。改めて別日を設け、運営のメンバーに集まってもらい、一通りの操作方法を伝授。



▲いぬやま地域つながるフェス当日の様子

事業の実施方針及び成果指標				進捗状況 (青：実施中or実施済 黄：準備中 桃：未実施)	備考(実績等)
項目0 (必須業務・重点課題)	項目1 (業務タイトル)	項目2 (事業内容)	項目3 (事業項目)		
市民活動支援の段階② まちづくりのプレイヤーを増やす “地域資源の発掘活用、活躍の場づくり”	●犬山市地域資源バンク	・市民活動登録団体情報のデータベース化 ・地域資源バンク登録情報のデータベース化	団体情報管理、共有業務 ・データベース化計画 ・データベース入力業務 ・ヒアリング・ニュース情報をスタッフ間で共有	新規登録を随時受けつつ、Webサイトを運用中 既存の地域資源バンク登録者の情報を更新し、webサイトの構成内容の見直しも実施 アウトリーチ活動に合わせて、地域資源の発掘も進めている	①新規登録件数：31件 ②マッチング件数：24件 (R3成果指標)①20件 ※R2実績：20件、②22件 ※R2実績：7件 (マッチング事例)フリースクール「このゆびとまれ」の体験活動で使う「足踏み脱穀機」を探しており、地域資源バンク登録者の中で資材を持つ人を探し、繋げた。
	●犬山市地域資源バンク 自主事業D (毎年申請)		シェアエコサイトの運用設計、サイト企画制作 ・市民活動団体：シェア情報の登録 新データベースとリンク ・登録団体以外：シェア情報の登録	犬山地域資源シェアエコサイトの構築作業を進め、ページ構成、デザイン、掲載システム等の内容検討を行った。名称を「いぬやまでばん」に決定し、テストサイトでシステムの検証を実施。令和4年度から本格運用を開始する予定	
			シェアエコサイトへの情報登録移行・確認作業	R4年度実施予定	
			登録説明会/定期開催 (登録方法、メニューの作り方等)	R4年度実施予定	
			個別説明・登録支援/受付対応	R4年度実施予定	
			様々な分野のシェア情報交流イベント (対面)	R4年度実施予定	
	●フューチャーセッション@犬山	・「創造的な語り場」として、犬山を舞台に何かやってみたいメンバーが自由に語り合い、対話から新しい価値を生み出す ・「U50」の設定で次代のまちづくりプレイヤーを発掘・育成 ・1年目より参加している有志メンバーが「いぬやま倶楽部 (いぬクラ)」として運営に参加	フューチャーセッション@犬山 企画運営 企画、仲間集め、場づくり、進行、運営サポート等のチャレンジを通し、人との繋がり、活動の広がり、活動を広げたい、地域活動や社会活動への一歩を踏み出せる場に	R3年度は、5月からスタートし、前期4回(5月～8月)・後期4回(11月～2月)の2部構成で、計8回実施 企画運営は、昨年度に引き続き、FS参加者による有志団体「いぬやま倶楽部」のメンバーと協働プラザスタッフが協力して実施 新型コロナウイルス感染症の影響で、12月分までは全てオンライン方式(Zoom)での開催となったが、1月、2月の2回はリアル開催をすることができた	開催回数：8回、①延べ参加者数：135名 ②新規参加者数：65名 (R3成果指標)①160名 ※R2実績：131名、②40名 ※R2実績：46名 ※R2開催実績：8回 【テーマ】 (前期)各回完結型 ①対話による創造の場づくりをはじめよう ②移住、国籍、障がい…多様性を受け入れるまちづくりとは？ ③暮らしと共存する新しい産業、文化の波を生み出すには？ ④人の心で「バリアフリー」を実現するには？ (後期)2回1セット ⑤⑥あなたの望む未来のつながり～ワクワクの未来を探そう～ ⑦⑧犬山ドリーム～犬山で実現する私になる～
		フューチャーアクト@犬山 (自主事業/毎年申請) セッションの中で生まれたアイデア提案者に対して、プラザより支援を行っていく(支援を行う上で、バンク・センター登録、必要に応じ市民活動団体登録を紹介)	フューチャーセッションの中で出たアイデアを形にしていこうと、提案者や協力者に対して、伴走支援を実施	サポート中の団体・事業 (団体) ・いぬやま子ども未来創造空間バレット ・犬山伝統と暮らしを楽しむ会 (事業) ・竹うちわ作りワークショップ ・ビクトグラム作成	※R3新規事業
		ワークショップデザインを学ぶ場づくりスキルアップ連続講座 ファシリテーターとしての場づくりの学びを活かして、ワークショップ自体の企画から考え運営を考える講座	今年度のフューチャーセッションは、参加者がファシリテーターに挑戦できる企画となっており、セッション内で学びの場は得られることから、個別の講座はR4年度で実施予定		
		いぬやまかたり場カフェ (自主事業/毎年申請) 登録者1名につき月1回まで、協働プラザ交流スペースを利用 テーマ提案者が企画持ち込み／協働プラザでもテーマ・開催日設定。自由に「語り場(交流・講座・ワークショップ等)」を開催できる ※かたり場カフェでアイデアの芽を膨らませ、FSへ繋ぎアクションへ (FSで出合いや学び、きっかけを得て、具体的な地域活動へ育成)	協働プラザがテーマを設定する「定期カフェ」と市民等から持ち込まれる「市民提案カフェ」を実施。プラザ提案が月1回、市民提案が月3回の想定 協働プラザの事業の進捗を踏まえ、アウトリーチ活動に注力するため、8月以降はプラザ提案のみ実施している(市民提案受付は停止中)	開催回数：9回、延べ参加者数：24名 【テーマ】 ①グラフィックレコーディングって知ってる？ ②音楽好き集まれ(市民提案) ③子どもの習い事について話そう ④着られなくなった子供服どうしてる？(市民提案) ⑤犬山でどんな防災の準備してる？ ⑥どんなチランが作りたい？もらいたい？ ⑦インターネットを活用したいけど気を付けることって？ ⑧子どものおこづかい～いくら渡してる？管理は？おこづかい帳は？～ ⑨犬山のフォトスポットを語ろう	※R2実績：6回開催、参加者数：26名



犬山市協働プラザ事業 進捗状況表(令和3年度実績)

事業の実施方針及び成果指標				進捗状況 (青：実施中or実施済 黄：準備中 桃：未実施)	備考(実績等)
項目0 (必須業務・重点課題)	項目1 (業務タイトル)	項目2 (事業内容)	項目3 (事業項目)		
市民活動支援の段階③ 地域の課題を解決する事業をつくる	●市民活動支援センター	・直接市民へ関わり、意見やニーズ等のヒアリングを行う ・アウトリーチ活動担当者のコーディネート力育成 ・未登録団体への登録促進（登録メモリの説明・相談対応）、登録件数増へ	ロジックモデルに基づき、事業の実施活動団体を増やすため、団体登録の促進	ロジックモデル、成果指標の進捗状況を事業ミーティングで随時確認取材を行った取り組みを事例集としてまとめ、シンポジウムで配布	①市民活動団体の新規登録件数：4件 ②市民交流センター登録団体の新規登録件数：11件 (R3成果指標)①5件 ※R2実績：12件、②10件 ※R2実績：11件
			アウトリーチ活動	アウトリーチ活動計画に基づき、7月より市内各所へ外向き、資源情報などを含め、情報収集を実施	訪問件数：34件 ※R3新規事業 (主な訪問先) 各地区協議体、コミュニティ、市民活動団体など
	●自主事業B（毎年申請）	まちづくり高度人材育成研修会	①市民活動促進 活動の創り方、ネットワーキング、継続性 ②社会的起業家育成 他市町の事例、市内の社会ニーズ調査、事業計画作成、組織形成 ③社会事業創出 社会事業マネジメント、事業運営、資金計画、組織拡大	①社会活動の立上げと持続可能な運営を学ぶ講座「スタートアップの組織づくり編」 対面開催。全3回。参加料1,000円 講師：河野 弓子さん(第1回のみ) ※第2回以降は協働プラザスタッフで実施 ②社会活動の立上げと持続可能な運営を学ぶ講座「自立自走の組織づくり・ソーシャルビジネス編」 オンライン開催。全3回。参加料2,000円 講師：松浦 孝英さん	開催回数：3回、延べ参加者数：11名 【テーマ】 ①小さな組織だからこそ知っておきたい活動立上げ“キホンのキ” ②“キホンのキ”で団体・グループの理念、目的、事業を考える ③“キホンのキ”で団体、グループの立上げ運営計画を立てる 開催回数：3回、延べ参加者数：39名 【テーマ】 ①社会的課題の解決とは、事業創造モデルとは ②持続可能な財政規模、事業計画の作り方 ③人材育成モデルと組織運用、まとめ
			障害者活用支援(データ入力・発送等軽作業、イベント準備等)	データ入力や封詰め発送作業等で、ボリュームが大きく事務スタッフでの対応が難しい場合、地球子ども村等の作業所へ依頼	依頼件数：2件 (主な内容) ・広報誌の封入郵送作業

(フューチャーセッション)実施風景

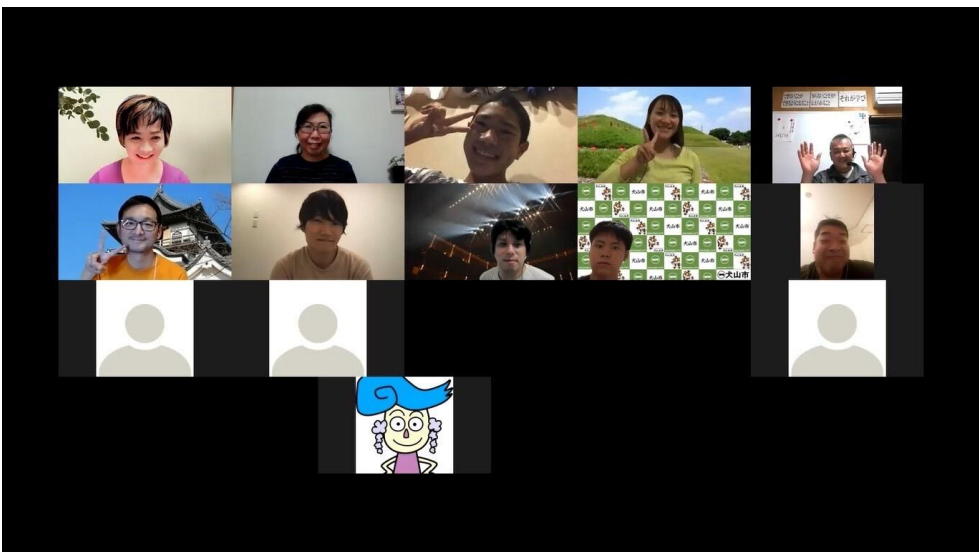


▲オンライン開催時の運営陣の様子

(フューチャーアクト)サポート事例



(フューチャーアクト)サポート事例



いぬやま子ども未来創造空間バレット「オンラインいぬやま子ども未来塾」
フューチャーセッション@犬山の「犬山の先生は学校の先生だけじゃない」という話題から発案され、プロジェクトチームが結成された「いぬやま子ども未来創造空間バレット」が7月に市民活動団体として登録。
8月、9月にオンラインイベントを実施。延べ参加者数：15名
主な支援内容：ミーティングの報告を受けつつ進捗を把握し、運営のアドバイスを、情報発信の支援を行った。

(フューチャーアクト)サポート事例

犬山伝統と暮らしを楽しむ会「ピクニックマルシェ」
昨年度、フューチャーセッション@犬山をきっかけに発足した「犬山伝統と暮らしを楽しむ会」は、今年度市民活動団体として助成金事業提案を行い、11月に「ピクニックマルシェ」を実施。「犬山焼ピアマグ」「犬山焼フリーカップ（プリンカップサイズ）」の販売も行った。このマルシェには、犬山焼だけではなく、昨年度のかまど・土鍋ご飯企画や、地元の竹を利用したワークショップ、東之宮古墳・窯元めぐりなどを取り入れ、犬山を感じ楽しめるイベントとなった。
主な支援内容：助成金事業に沿った伴走支援を実施。ローレライ麦酒館、東洋自慢、コトモファームとつなぎ、犬山焼を活用した商品開発に至った。

(フューチャーアクト)サポート事例



「竹うちわ作りワークショップ 東雲(しのめ)」
香川県丸亀でうちわ作りの修業をされ、それを活かしまちづくり、まちの活性化が出来ないかと中山さんの発言を受け、フューチャーセッション@犬山の参加メンバーから有志が集結。観光客対象の体験型観光資源として、未来の人材活躍補助金も活用し、ワークショッププログラムを作成。
また、地域に住む外国籍の方に、日本文化に触れてもらうコミュニケーションツールとしても活用できないかと考え、名古屋経済大学地域連携センター、地域協働課へも相談。うちわに限らず「竹」の再利用という観点で、栗栖地区の竹林整備活動など、市内で開催される竹を使った活動も視察し、今後の活動を検討。
主な支援内容：ワークショップ実施のアドバイスを、名古屋経済大学地域連携センター、地域協働課交流担当、ミラマチ栗栖の紹介。